



2022年3月30日
東日本旅客鉄道株式会社
KDDI株式会社

JR東日本とKDDI AR技術で地域活性化や業務革新を推進 ～長野県で観光向けARコンテンツを提供～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」）とKDDI株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋誠、以下「KDDI」）は、AR※技術を用いた新しい価値・体験の提供に取り組んでいます。
- このたび、ARによるコンテンツ提供を簡易に行えるプラットフォームを共同開発しました。このプラットフォームを観光に活用し、2022年4月から始まる観光型MaaS「旅する北信濃～牛(スマホ)にひかれて善光寺御開帳～」にて、訪れた方にARコンテンツを提供いたします。
- 両社は今後、地域のさまざまな情報や文化・芸術の活性化につながるARコンテンツを提供し、地域の活性化への貢献のほか、鉄道現場での業務革新などARの幅広い活用を目指します。

※AR：Augmented Reality（拡張現実）

1. 概要

ARコンテンツとは、お客さまがお持ちのスマートフォンやタブレット端末等の画面を通して、観光地のスポット情報等が浮かび上がるように表示されるものです。

ARコンテンツの提供は、開発したプラットフォームにARコンテンツの位置情報や表示内容を登録することで完了します。今後は、地域活性・観光への応用や情報発信・日々の業務への活用等、様々な分野でARを活用した新しい価値・体験の提供を目指します。

<ARプラットフォームのイメージ>



2. 観光用ARコンテンツの提供

長野県の北信濃エリアを対象とした観光型MaaS「旅する北信濃～牛(スマホ)にひかれて善光寺御開帳～」※と連携し、長野駅及び善光寺周辺に観光用ARコンテンツを提供します。

※「旅する北信濃～牛(スマホ)にひかれて善光寺御開帳～」の概要は別紙をご覧ください



<コンテンツ TOP 画面>



<街なか AR 案内マップ>



<街なか AR 看板>

※写真はイメージです

(1) 提供コンテンツ

| 提供コンテンツ | 詳細 | 期間 (予定) |
|--------------|---|-------------------------------------|
| 街なか AR 案内マップ | 長野駅、善光寺周辺、街なかの地図及びスポット情報を検索できる案内板を AR で表示します。 | 2022 年 4 月 1 日～ 2022 年 6 月 30 日 |
| 街なか AR 看板 | 観光スポットや店舗の前に AR の看板を表示します。 | 2022 年 4 月 28 日～ 2022 年 6 月 30 日 |
| AR ガイド | 長野駅の自由通路から、善光寺方面のバス停までの案内を AR で表示します。 | 2022 年 5 月 9 日～ 2022 年 6 月 30 日 |
| AR イベント | 駅前広場で AR コンテンツによるイベントを行います。 | 2022 年 5 月 9 日～ 2022 年 6 月 30 日 |

(2) 利用料

無料 (スマホの通信料金等はお客さまのご負担となります)

(3) 利用方法

長野駅及び善光寺周辺を対象に、観光スポットや店舗の情報がお客さまのスマホ画面に AR として表示されます。本サービスは日常空間に AR を表示させるアプリ「XR CHANNEL」をお手持ちのスマートフォンにダウンロードすることで体験いただけます。

Android™スマートフォンをご利用のお客さまは、以下よりダウンロードしてください。

URL : <https://play.google.com/store/apps/details?id=net.ovec>

iPhone をご利用のお客さまは、以下よりダウンロードしてください。

URL : <https://apps.apple.com/us/app/id1525712662>

「XR CHANNEL」公式サイト : <https://www.ovec.net/solutions/xrchannel.html>

5G 対応端末でのご利用を推奨していますが、4G 対応端末からもお楽しみいただけます。

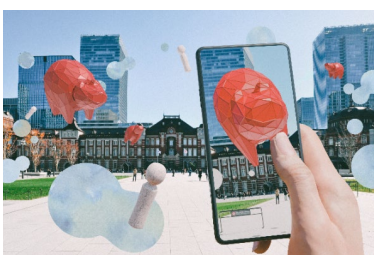
参考. これまでの取組み

この取組みは JR 東日本と KDDI が参加する「モビリティ変革コンソーシアム」※で 2020 年度から実施してきた実証実験の成果をもとにした AR 技術の実装です。過去の実装例を以下に示します。

※モビリティ変革コンソーシアムとは、JR東日本単独では解決が難しい社会課題や、次代の公共交通のあり方についてオープンイノベーションによりモビリティ変革を実現する場として設立したコンソーシアムです。

<主な実装例>

| | | |
|--|--|----------------|
| TOKYO STATION AR ART PROJECT (「HAND! in Yamanote Line」) | 東北地方の伝統工芸品をモチーフにした AR コンテンツを制作し、その AR コンテンツを KDDI が提供する先端テクノロジーである VPS を用いて JR 東京駅丸の内駅前広場のリアル空間に展示する AR 実証実験を JR 東日本 東京感動線主催のイベントで実施しました。 ※VPS (Visual Positioning Service) : 建物などの街の空間をスマートフォンで認識できる技術 | 2020 年 11 月 |
| 東北 AR イベント (東北デスティネーション キャンペーン) | 青森観光の代表である「ねぶた」を 3 次元スキャンして制作した AR コンテンツを au 5G のエリア化が進む JR 山手線並びに東北新幹線の主要駅の駅前広場のリアル空間に VPS を活用して展示する AR イベントを実施しました。 | 2021 年 3 月~9 月 |
| HARAJUKU MEIJIJINGU AR PROJECT (「HAND! in YAMANOTE LINE」) | JR 原宿駅から明治神宮本殿までのルートにおいて、原宿駅構内店舗や明治神宮での見どころを案内する AR コンテンツをルート上のリアル空間に VPS を活用して展開する実証実験を実施しました。 | 2022 年 1 月~2 月 |



TOKYO STATION
AR ART PROJECT



東北 AR イベント



HARAJUKU MEIJIJINGU
AR PROJECT

■「旅する北信濃～牛(スマホ)にひかれて善光寺御開帳～」について

1. 概要

JR 東日本では、2022 年 4 月 3 日から 6 月 29 日まで開催される善光寺御開帳に合わせて、観光の利便性向上と広域周遊促進を目的として、長野県・北信濃エリアで観光型 MaaS^注「旅する北信濃」を展開します。

観光電子チケット、飲食・レンタサイクル等を楽しめるエキトマチチケット、交通電子チケットの販売および旅する北信濃スタンプラリーの実施など、スマートフォン（スマホ）ひとつで観光をおトクに便利に楽しんでいただけるサービスです。旅する北信濃特典も多々ご用意しております。

駅レンタカーと連携したキャンペーンや長野駅～善光寺エリアの観光と「旅する北信濃」をご案内する AR (Augmented Reality) 技術との連携も実施します。

注：MaaS…「Mobility as a Service」の略

2. 実施期間

2022 年 4 月 1 日（金）～2022 年 6 月 30 日（木）まで

※ 善光寺御開帳期間は 2022 年 4 月 3 日（日）～6 月 29 日（水）



【ロゴマーク】

3. サービス提供エリア

長野市（善光寺、松代、戸隠）・小布施町・山ノ内町・
野沢温泉村・飯山市



【旅する北信濃 LP サイト】

4. 登録・利用について

無料で登録いただけます。

詳しくは添付 QR コードを読み込み、LP サイトにてご覧ください。

※2022 年 2 月 24 日（木）発表のプレスリリースもご覧ください。